

GMP-GRADE RECOMBINANT DLL4

Designed for Large-scale iPSC Manufacturing

Newly
Launched



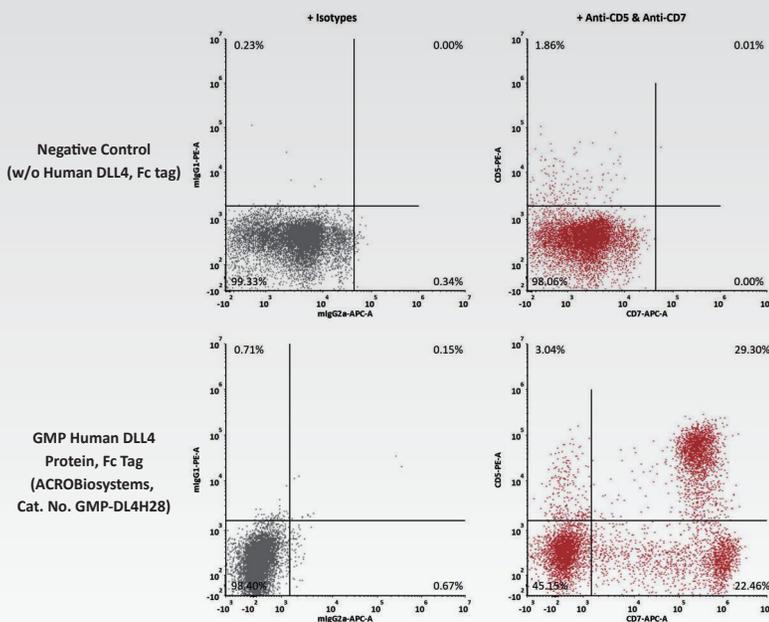
DLL4タンパク質を用いてフィーダー細胞フリーの培養法は、臨床 iPSC の大規模生産の主流となっています。たとえば、プレートを使用して Notch リガンド DLL4 と一部の接着分子 (VCAM-1 など) を組み合わせることによって、培養効率が上がります。iPSC の大規模浮遊培養をより良くサポートするために、DLL4 マイクロビーズに基づくフィーダー細胞フリーの in vitro システムを開発しました。新たに発売された GMP Grade の DLL4 タンパク質 (製品番号: GMP-DL4H28) は、高い活性と安全性を有し、フィーダー細胞を使用しない培養プロトコル下で iPSC-T 細胞の誘導および分化のプロセスに使用することができます。iPSC の大規模臨床生産をより良くサポートすることができます。接着分子 GMP Grade の VCAM-1 タンパク質 (製品番号 GMP-VC1H25) と適合する DLL4 マイクロビーズ ActiveMax[®] Human DLL4 μBeads, premium grade (細胞用) (製品番号: MBS-C013) もオンラインで同時に提供しております!

QR Code をスキャンして、
新しい GMP DLL4 製品を
探索してください!



Explore Now

CD34+ HSPC から誘導された CD7+CD5+ T 前駆細胞/ T プロジェニター細胞は、
GMP human DLL4, Fc tag (Cat. No. GMP-DL4H28)
フィーダーフリーのコーティングプレートにてにて 26 日間分化しました。

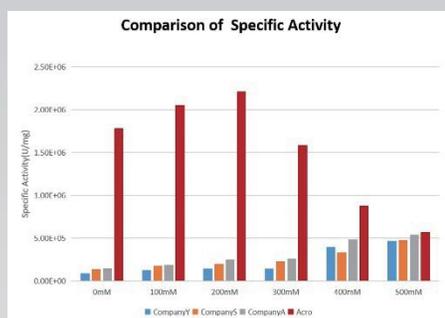


CD34+ CD45+ 造血細胞は GMP ヒト DLL4 タンパク質、Fc タグ (製品番号 GMP-DL4H28) - コーティングプレート上に播種され、26 日間分化させた後、フローサイトメトリーを用いて T 前駆細胞マーカー、CD7 および CD5 の発現を検出しました。GMP ヒト DLL4 プロテイン、Fc タグ (製品番号 GMP-DL4H28) と他の成長因子を組み合わせることで、CD7+ および CD7+CD5+ T 前駆細胞の形成を誘導できました。しかし、GMP ヒト DLL4 タンパク質、Fc タグ (製品番号 GMP-DL4H28) - コーティングプレート無しで培養された細胞は、CD5 も CD7 も発現しませんでした。

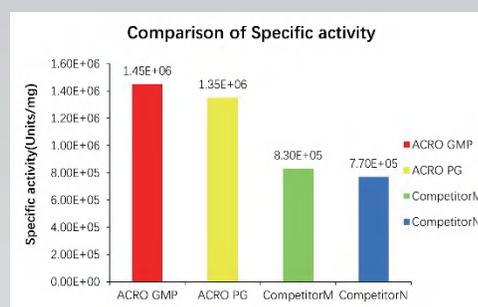
フォーカス製品 GMP GRADEヌクレアーゼ

■ GMP GradeのGENIUS™ Nuclease全分解型ヌクレアーゼ (製品番号: GMP-NUES19)

ACROBiosystems 自社で開発した GMP Gradeの GENIUS™ Nuclease全分解型ヌクレアーゼ (製品番号: GMP-NUES19) には、動物由来成分、IPTG、標識、プロテアーゼ活性、天然由来の酵素由来のウイルスなどの汚染物質を含まず、高い純度、活性、安全性を保証されます。また、Salt Active GENIUS™ NucleaseのGMP Grade高耐塩製品 (製品番号: GMP-NUES13) も揃えており、塩度の高い条件下でも高い酵素活性を示すため、AAVウイルス生産などのバイオプロセスにおいて核酸コンタミネーションの除去に最適です。



GMP Salt Active GENIUS™ Nuclease (Cat. No. GMP-NUES13)



GMP GENIUS™ Nuclease (Cat. No. GMP-NUES19)

■ GMP Human 4-1BB Ligand Protein

T、NK、DC細胞の培養にも適しています。

Request a Sample

GMP Human 4-1BB Ligand Protein

サンプルのお申込みはこちら

